

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2017-148670(P2017-148670A)

【公開日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2017-033

【出願番号】特願2017-115694(P2017-115694)

【国際特許分類】

A 6 3 H 3/36 (2006.01)

A 6 3 H 3/46 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/36 D

A 6 3 H 3/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月22日(2019.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

胸部を有する人型玩具であって、

前記胸部の左右中央部分を形作る中央胸部と、

腕部と、

前記中央胸部及び前記腕部それぞれと連結する側胸部と、

を備え、

前記中央胸部の外面と前記側胸部の外面とで前記胸部としての一体的に連なった外観を形成しております、

前記中央胸部と前記側胸部との連結構造は、前記側胸部が前記人型玩具の前方である前記腕部の突き出し方向へ変位可能な構造を有する、

人型玩具。

【請求項2】

前記連結構造は、前記側胸部における前記突き出し方向の後方側が、前記突き出し方向の前方側よりも外側に変位可能な構造を有する、

請求項1に記載の人型玩具。

【請求項3】

前記連結構造は、前記突き出し方向を含む平面的な動作をするための閉リンク構造を有し、前記閉リンク構造の両端が前記中央胸部に設けられ、中間のリンクによって前記側胸部が前記中央胸部に連結されている、

請求項1または2に記載の人型玩具。

【請求項4】

前記閉リンク構造の前記両端のうちの後方端が所定のスライド方向にスライド自在に構成された、

請求項3に記載の人型玩具。

【請求項5】

前記スライド方向は、前記人型玩具の背面側から見て前方斜め外側に向かう方向に設定されている、

請求項4に記載の人型玩具。

【請求項6】

前記側胸部の変位可能な範囲は、上面視において、前記側胸部が前記中央胸部と横並びの位置を後方限界位置とし、前記突き出し方向へ最も移動した位置を前方限界位置とする範囲である、

請求項1～5の何れか一項に記載の人型玩具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、人型玩具であって、中央胸部と、腕部と、前記中央胸部及び前記腕部それぞれと連結する側胸部と、を備え、前記中央胸部と前記側胸部との連結構造は、前記側胸部が前記人型玩具の前方である前記腕部の突き出し方向へ変位可能な構造を有する、人型玩具である。また、本発明は胸部を有する人型玩具であって、前記胸部の左右中央部分を作成する中央胸部と、腕部と、前記中央胸部及び前記腕部それぞれと連結する側胸部と、を備え、前記中央胸部の外面と前記側胸部の外面とで前記胸部としての一体的に連なった外観を形成しており、前記中央胸部と前記側胸部との連結構造は、前記側胸部が前記人型玩具の前方である前記腕部の突き出し方向へ変位可能な構造を有する、人型玩具である。

—